

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	原則として無期限（設定日：2005年10月28日）	
運用方針	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド（ベビーファンド）	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	当ファンド（ベビーファンド）	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年10月27日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。経費控除後の配当等収益（繰越分及びマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額とします。委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

# 運用報告書（全体版）

第19期

（決算日：2024年10月28日）

## ソフトバンク & SBI グループ 株式ファンド 特化型

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド」は、2024年10月28日に第19期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

 SBI Asset Management

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
15期(2020年10月27日)	18,062	0	40.9	97.7	1,042
16期(2021年10月27日)	20,226	0	12.0	96.7	1,095
17期(2022年10月27日)	17,370	0	△ 14.1	95.7	930
18期(2023年10月27日)	18,643	0	7.3	95.8	924
19期(2024年10月28日)	24,084	0	29.2	95.1	1,190

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式(以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。)に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2023年10月27日	18,643	—	95.8
10月末	18,739	0.5	95.7
11月末	19,538	4.8	96.2
12月末	20,238	8.6	98.2
2024年1月末	21,000	12.6	97.2
2月末	23,232	24.6	96.0
3月末	23,566	26.4	95.5
4月末	22,316	19.7	95.3
5月末	23,331	25.1	95.9
6月末	25,065	34.4	95.9
7月末	24,030	28.9	95.9
8月末	23,909	28.2	96.5
9月末	23,707	27.2	95.2
(期末) 2024年10月28日	24,084	29.2	95.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2023年10月28日から2024年10月28日まで）

### ○基準価額等の推移



期首：18,643円

期末：24,084円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：29.2%（分配金再投資ベース）

（注1）当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は記載していません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・ 米国長期金利低下、連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和姿勢
- ・ 日銀の金融緩和継続姿勢
- ・ 米国景気のソフトランディング期待

#### 下落要因

- ・ 日銀の政策金利の引き上げ、追加利上げ姿勢
- ・ FRBによる早期利下げ期待の後退
- ・ 中東情勢の緊迫化

## ○投資環境

---

当期の日経平均株価は30,600円近辺から始まり、2023年末にかけて、米長期金利低下や日銀の緩和継続姿勢を背景に上昇しました。年明け後も、円安／ドル高から輸出関連株が買われたこと、日本の金利上昇期待が強まり銀行株が買われたことなどで上昇し、一時もみ合った後、米国株市場でハイテク株中心に主要株価指数が過去最高値を更新したことで、日本株の割安感から外国人投資家の大口買いが入り、2024年3月には、日経平均株価が場中に41,087.75円の史上最高値をつけました。その後、機関投資家の益出し売り、米長期金利の上昇と早期利下げ期待の後退、中東情勢の緊迫化などから、4月中旬には36,700円台まで大きく下落しました。5月以降、連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ期待から米国株式上昇や世界同時株高の流れを受け上昇し、7月11日に期中最高値42,426.77円をつけました。その後日銀が政策金利の引き上げを決定し、追加利上げにも積極姿勢を見せた一方、米国では弱い雇用統計を受けて早期利下げ観測が強まり、円高が急激に進み日本株は暴落し、8月上旬に一時31,156.12円まで下落しました。その後、米国の景気減速に対する過度な懸念の後退や、円高一服を手掛かりに急速に切り返し、38,000円台まで回復し、期末にかけて一進一退の動きが続き、38,600円台で今期を終えました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

---

### <当ファンド>

ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

### <ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄の異動は、ソフトバンクが保有していた株式が譲渡され、ソフトバンクの子会社から離脱したベクターホールディングス（2656）、ジーニー（6562）、ソフトバンクグループの持分法適用会社から外れたサイジニア（6031、現ZETA）、上場廃止となるSBテクノロジー（4726）を売却しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

---

当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

## ○分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2023年10月28日～ 2024年10月28日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,084

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資します。

### <ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書(目論見書)に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例(1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%)して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年10月28日～2024年10月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社)  (受 託 会 社)	25 ( 10) ( 10)  ( 5)	0.110 (0.044) (0.044)  (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料   (株 式)	14   ( 14)	0.064   (0.064)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権 口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷)	19 ( 11) ( 8)	0.086 (0.051) (0.035)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	58	0.260	
期中の平均基準価額は、22,389円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

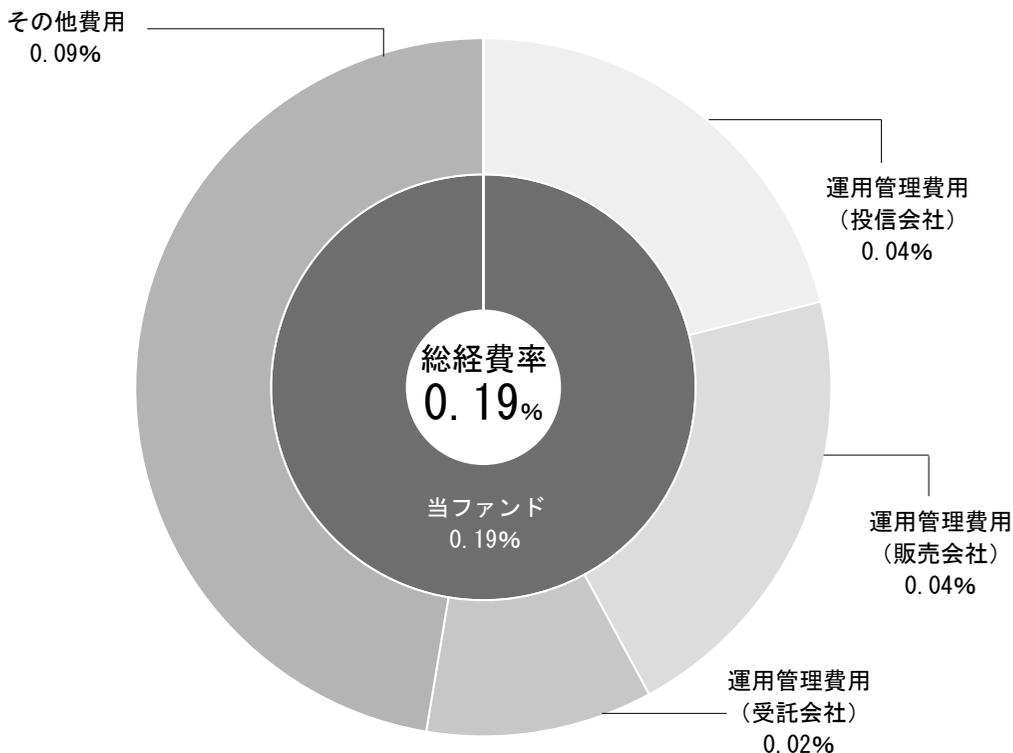
(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**0.19%**です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年10月28日～2024年10月28日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンド	千口 136,847	千円 371,910	千口 141,268	千円 372,710

(注) 単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2023年10月28日～2024年10月28日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	526,429千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,042,111千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.50

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年10月28日～2024年10月28日)

### 利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

### <ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

### <ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種類	買付額	売付額	当期末保有額
株式	百万円 21	百万円 7	百万円 62

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはSBIグローバルアセットマネジメント株式会社、SBIホールディングスです。

## ○組入資産の明細

(2024年10月28日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 425,260	千口 420,839	千円 1,192,238

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2024年10月28日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千円 1,192,238	% 99.7
コール・ローン等、その他	3,784	0.3
投資信託財産総額	1,196,022	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年10月28日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,196,022,680円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	23,827
ソフトバンク&SBIグループ株 式・マザーファンド(評価額)	1,192,238,853
未 収 入 金	3,760,000
(B) 負 債	5,038,456
未 払 解 約 金	3,749,099
未 払 信 託 報 酬	630,897
そ の 他 未 払 費 用	658,460
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,190,984,224
元 本	494,507,282
次 期 繰 越 損 益 金	696,476,942
(D) 受 益 権 総 口 数	494,507,282口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	24,084円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	495,947,087円
期中追加設定元本額	160,863,488円
期中一部解約元本額	162,303,293円

## ○損益の状況 (2023年10月28日～2024年10月28日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	209,039,091円
売 買 益	258,497,770
売 買 損	△ 49,458,679
(B) 信 託 報 酬 等	△ 4,081,403
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	204,957,688
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	59,928,430
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	431,590,824
( 配 当 等 相 当 額 )	( 347,614,422)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 83,976,402)
(F) 計 (C + D + E)	696,476,942
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	696,476,942
追 加 信 託 差 損 益 金	431,590,824
( 配 当 等 相 当 額 )	( 348,179,347)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 83,411,477)
分 配 準 備 積 立 金	264,886,118

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(25,763,002円)、費用控除後の有価証券等損益額(120,060,258円)、信託約款に規定する収益調整金(431,590,824円)および分配準備積立金(119,062,858円)より分配対象収益は696,476,942円(10,000口当たり14,084円)ですが、当期に分配した金額はありません。

# 第19期 運用報告書

(決算日 2024年10月28日)

## ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド

### 受益者のみなさまへ

ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドの第19期（2023年10月28日から2024年10月28日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	本ファンドは、わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		
15期(2020年10月27日)	20,562	42.4	98.0	1,038
16期(2021年10月27日)	23,259	13.1	97.1	1,091
17期(2022年10月27日)	20,161	△ 13.3	96.0	927
18期(2023年10月27日)	21,849	8.4	95.3	929
19期(2024年10月28日)	28,330	29.7	95.0	1,192

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2023年10月27日	21,849	—	95.3
10月末	21,964	0.5	95.7
11月末	22,918	4.9	96.1
12月末	23,757	8.7	98.1
2024年1月末	24,669	12.9	97.0
2月末	27,288	24.9	95.8
3月末	27,682	26.7	95.3
4月末	26,221	20.0	95.0
5月末	27,417	25.5	95.9
6月末	29,458	34.8	95.8
7月末	28,246	29.3	95.9
8月末	28,110	28.7	96.4
9月末	27,880	27.6	95.1
(期末) 2024年10月28日	28,330	29.7	95.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2023年10月28日から2024年10月28日まで）

### ○運用経過

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は、期首21,849円から始まったあと、期末には28,330円となりました。期を通じて騰落率は29.7%の上昇となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2023/10/27	2024/7/10	2023/10/30	2024/10/28
基準価額（円）	21,849	31,687	21,724	28,330

【組入上位10銘柄】

(2024年10月28日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	32.2
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	31.1
3	LINEヤフー	情報・通信業	円	日本	14.8
4	ZOZO	小売業	円	日本	7.4
5	SBIホールディングス	証券、商品先物取引業	円	日本	5.0
6	住信SBIネット銀行	銀行業	円	日本	2.0
7	アスクル	小売業	円	日本	0.9
8	SBIグローバルアセットマネジメント	サービス業	円	日本	0.3
9	バリューコマース	サービス業	円	日本	0.2
10	SBIアルヒ	その他金融業	円	日本	0.2
組入銘柄数		18銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、P16に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国を表示しています。

## ○当ファンドのポートフォリオ

---

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄の異動は、ソフトバンクが保有していた株式が譲渡され、ソフトバンクの子会社から離脱したベクターホールディングス（2656）、ジーニー（6562）、ソフトバンクグループの持分法適用会社から外れたサイジニア（6031、現 ZETA）、上場廃止となるSBテクノロジー（4726）を売却しました。

## ○今後の運用方針

---

引き続きソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2023年10月28日～2024年10月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料	円 17	% 0.064	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0.064)	
合 計	17	0.064	
平均基準価額は、26,300円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2023年10月28日～2024年10月28日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		318 (1,694)	267,811 (一)	137	258,618

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2023年10月28日～2024年10月28日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	526,429千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,042,111千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.50

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年10月28日～2024年10月28日)

### 利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

### 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当期末保有額
株式	百万円 21	百万円 7	百万円 62

### 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはSBIグローバルアセットマネジメント株式会社、SBIホールディングスです。

## ○組入資産の明細

(2024年10月28日現在)

### 国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評価額
	千株	千株	千円
<b>情報・通信業 (82.6%)</b>			
出前館	7.2	7.9	1,998
メディカル・データ・ビジョン	2.2	2.4	1,264
ブロードバンドセキュリティ	0.2	0.3	438
LINEヤフー	417.6	425.1	176,629
SBIテクノロジー	1.2	—	—
ソフトバンク	178	2,041.9	384,285
ソフトバンクグループ	46.9	41.2	371,170
<b>小売業 (8.8%)</b>			
ベクターホールディングス	1.1	—	—
アスクル	5.3	5.7	11,115
ZOZO	17	17.9	88,658
<b>銀行業 (2.1%)</b>			
住信SBIネット銀行	8.2	9	23,346
<b>証券、商品先物取引業 (5.5%)</b>			
SBIレオスひふみ	—	6.1	1,079
SBIリーシングサービス	0.4	0.5	1,369
レオス・キャピタルワークス	0.7	—	—
SBIホールディングス	15	18	59,688

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評価額
	千株	千株	千円
<b>保険業 (0.1%)</b>			
SBIインシュアランスグループ	1.4	1.5	1,380
<b>その他金融業 (0.2%)</b>			
SBIアルヒ	2	2.7	2,170
<b>サービス業 (0.7%)</b>			
アイティメディア	1.1	1.3	2,080
バリューコマース	1.9	2	2,228
SBIグローバルアセットマネジメント	4.9	5.3	3,074
ZETA	0.3	—	—
ジーニー	1	—	—
イーエムネットジャパン	0.2	0.2	171
<b>合 計</b>	<b>株数・金額</b>	<b>713</b>	<b>2,589</b>
	<b>銘柄数&lt;比率&gt;</b>	<b>22</b>	<b>18 &lt;95.0%&gt;</b>

(注1) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の( )内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

## ○投資信託財産の構成

(2024年10月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	1,132,148	94.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	63,868	5.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,196,016	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年10月28日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,196,016,236円
コール・ローン等	53,172,311
株 式 ( 評 価 額 )	1,132,148,030
未 収 配 当 金	10,695,735
未 収 利 息	160
(B) 負 債	3,760,000
未 払 解 約 金	3,760,000
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	1,192,256,236
元 本	420,839,694
次 期 繰 越 損 益 金	771,416,542
(D) 受 益 権 総 口 数	420,839,694口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	28,330円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	425,260,912円
期中追加設定元本額	136,847,251円
期中一部解約元本額	141,268,469円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	420,839,694円

## ○損益の状況 (2023年10月28日～2024年10月28日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	26,276,034円
受 取 配 当 金	26,278,471
受 取 利 息	14,469
そ の 他 収 益 金	13
支 払 利 息	△ 16,919
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	237,643,121
売 買 益	240,671,473
売 買 損	△ 3,028,352
(C) 当 期 損 益 金 ( A + B )	263,919,155
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	503,876,169
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	235,062,749
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 231,441,531
(G) 計 ( C + D + E + F )	771,416,542
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	771,416,542

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。